科目名	海外・国内研修							年度	2026
英語科目名	Overseas and Domestic Training							学期	通年
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	志鎌 克彦/髙野 清宗		教員の実務経験		有	実務経験の職種		クター/アーテ	

【科目の目的】

様々な文化や価値観の違いに触れ、学んだことを自身のアーティスト活動に活かせることを目標とする。また、自分で計画を立てて行動できる計画性を養うことも目的とする。

【科目の概要】

学科の特色に基づいた研修旅行を実施し、海外または国内でエンタテインメントを学びます。下記の授業テーマ、到達目標は海外研修を想定しており、国内研修の場合は授業テーマが異なる場合があります。

【到達目標】

A. 事前学習で訪れる国について理解できる
B. 旅行計画を作成できる
C. 現地の人と英会話ができる
D. 現地の文化に触れ、日本との違いを感じとれる
E. 成果発表ができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	事前学習で訪れる国について理解でき、特徴を説明できる		事前学習で訪れる国について理解できる		事前学習で訪れる国について理解できない
到達目標 B	旅行計画を作成でき、分かり易い内容にまとめられる		旅行計画を作成できる		旅行計画を作成できない
到達目標 C	現地の人と英会話ができ、意思疎通ができる		現地の人と英会話ができる		現地の人と英会話ができない
到達目標 D	現地の文化に触れ、日本との違いを説明できる		現地の文化に触れ、日本との違いを感じとれる		現地の文化に触れ、日本との違いを感じとれない
到達目標 E	成果発表ができ、新しい課題を発見できた		成果発表ができる		成果発表ができない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート　80%　提出されたレポートの内容により評価
平常点　　20%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	海外・国内研修	年度	2026
英語表記	Overseas and Domestic Training	学期	通年

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前学習	パスポートの所得方法とビザについて学ぶ	1	パスポート	パスポートの種類と申請方法を理解できる		
			2	ビザ	ビザの種類と所得方法を理解できる		
			3	有効期限	有効期限について理解できる		
2	事前学習	各国の音楽文化について学ぶ	1	アーティスト	著名なアーティストについて理解できる		
			2	ジャンル	各国特有のジャンルについて理解できる		
			3	楽器	各国特有の楽器について理解できる		
3	事前学習	各国のルール・マナーについて学ぶ	1	ルール	各国特有のルールについて理解できる		
			2	マナー	各国特有のマナーについて理解できる		
			3	価値観	各国特有の価値観について理解できる		
4	事前学習	基本的な英会話を学ぶ	1	挨拶のフレーズ	基本的な挨拶のフレーズについて理解できる		
			2	受け答え	基本的な受け答えができる		
			3	質問	英語で質問することができる		
5	事前学習	各国の歴史・地理を学ぶ	1	成り立ち	国の成り立ちについて理解できる		
			2	主要な出来事	歴史の主要な出来事について理解できる		
			3	地域	国の地域について理解できる		
6	事前学習	各国の政治経済を学ぶ	1	通貨と税金	国の通貨と税金について理解できる		
			2	景気と円安円高	現在の景気と円安円高について理解できる		
			3	政治の仕組み	政治の仕組みについて理解できる		
7	事前学習	旅行計画を立てる	1	場所の設定	訪れたい場所を設定できる		
			2	タイムテーブル	タイムテーブルを作成できる		
			3	費用計算	費用計算ができる		
8	空港	飛行機で移動する際の流れを理解する	1	出国時	出国時の流れを理解できる		
			2	機内での会話	機内での会話を理解できる		
			3	入国時	入国時の流れを理解できる		
9	英会話	現地の方と英会話交流する①	1	空港	空港での英会話ができる		
			2	タクシー	タクシーでの英会話ができる		
			3	ホテル	ホテルでの英会話ができる		
10	英会話	現地の方と英会話交流する②	1	お店で注文する	英語で注文できる		
			2	質問する	英語で質問できる		
			3	感想を言う	英語で感想を言う		
			1	コンサート鑑賞	日本との違いを感じ取れる		

11	文化①	音楽的な文化の違いに触れる	2	演奏の違い	演奏の違いを理解できる		
			3	会場の違い	会場の違いを理解できる		
12	文化②	食文化に触れ、チップなどのマナーを実践する	1	食事の文化	現地の食文化に触れることができる		
			2	チップ	チップを支払うことができる		
			3	マナー	マナーを守ることができる		
13	文化③	建造物や芸術作品などの文化の違いに触れる	1	建造物	現地の建造物を見学できる		
			2	芸術	現地の美術館、芸術作品を鑑賞できる		
			3	価値観の違い	価値観の違いを理解できる		
14	成果発表①	チームを作り、資料を作成する	1	チーム分け	発表の為のチーム分けができる		
			2	資料作成	資料作成ができる		
			3	ディスカッション	ディスカッションができる		
15	成果発表②	チームでプレゼンテーション発表会を行う	1	分担決め	分担決めができる		
			2	リハーサル	リハーサルを行い、修正できる		
			3	発表	海外研修の感想を共有できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等